

第111回

2012. 11. 8

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業324社、回答企業207社、回答率63.9%
調査対象期間	2012年7～9月期の実績、10～12月期および2013年1～3月期の予想
調査時点	2012年10月上旬～下旬

要約

7～9月期の業況判断は前期比横ばい 10～12月期は改善する見込み

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、7～9月期の業況判断B S I（前期→当期： $\Delta 23 \rightarrow \Delta 23$ ）は、景気の回復に一服感が見られるなか、横ばいで推移した。業種別では、製造業（同： $\Delta 18 \rightarrow \Delta 28$ ）が悪化した一方で、非製造業（同： $\Delta 25 \rightarrow \Delta 20$ ）ではやや改善している。

一方、先行きについて、10～12月期の業況判断は、好転する企業の比率が上昇することなどから、全体の業況判断（ $\Delta 11$ ）は改善する見通しである。明年1～3月期の業況判断（ $\Delta 17$ ）は、10～12月期と比べ、再び悪化する見通しである。

設備投資額は、大きく増加した前年度の投資が一巡した状況が続いており、総投資額は前年比18.5%減の約223億円となった。

先行き10～12月期の計画についても、実施企業の比率が今期からやや低下するとともに、投資額も今期と同様に前年比での減少が続く見込みである。また、今後1年間の設備投資意欲も、製造業、非製造業とも低下している。

1. 概況 (全産業)

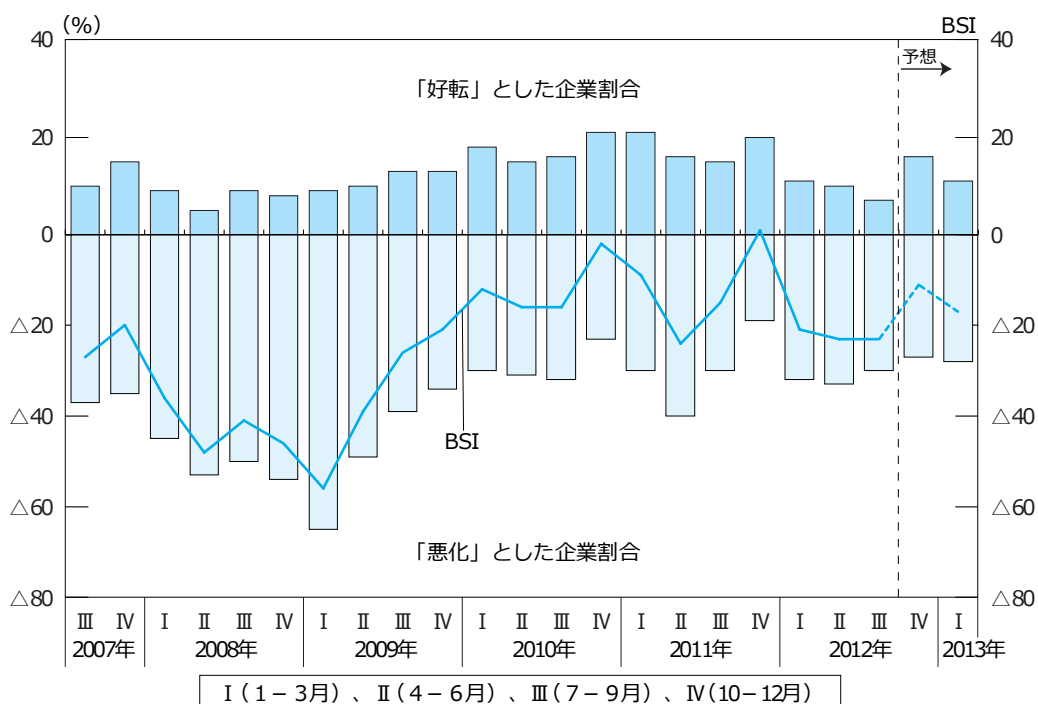
【2012年7～9月期の実績】 全体の業況判断は、前期と比べ横ばいで推移

県内企業の当期（2012年7～9月期、以下同じ）の動向をみると、景気の緩やかな回復が続くなか、業況判断は非製造業で改善した一方、製造業が悪化したことにより、全体では横ばいで推移している。

これをBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げBSIは△13から△7へと改善したが、収益BSIは△19から△18へ、業況判断BSIは△23から△23へとそれぞれ横ばいで推移した。なお、前回調査時の業況判断BSIの7～9月期予想は△7であり、実績が予想を大きく下回った結果となった。

7～9月期の業況判断BSIを2007年からみると、△27（2007年）→△41→△26→△16→△15→△23（今回）と推移しており、前年同期よりも悪化している。

企業経営者による業況判断



— 図の見方 —

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみる事が可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

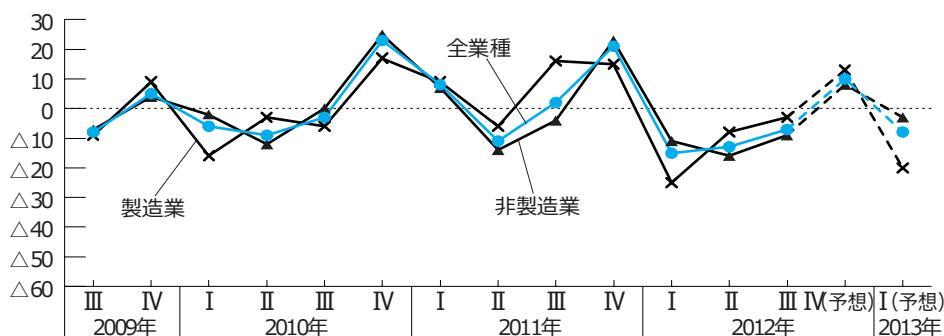
【2012年10～12月期の予想】 業況判断は改善する見通し

10～12月期の予想は、景気の緩やかな回復への期待が根強いことなどにより、7～9月期に比べ、全業種の売上げBSI（ $\Delta 7 \rightarrow 10$ ）、収益BSI（ $\Delta 18 \rightarrow 3$ ）、業況判断BSI（ $\Delta 23 \rightarrow \Delta 11$ ）とも改善する見通しとなっている。もっとも、業況判断BSIの水準は、前年同期の実績（1）を12ポイント下回っている。

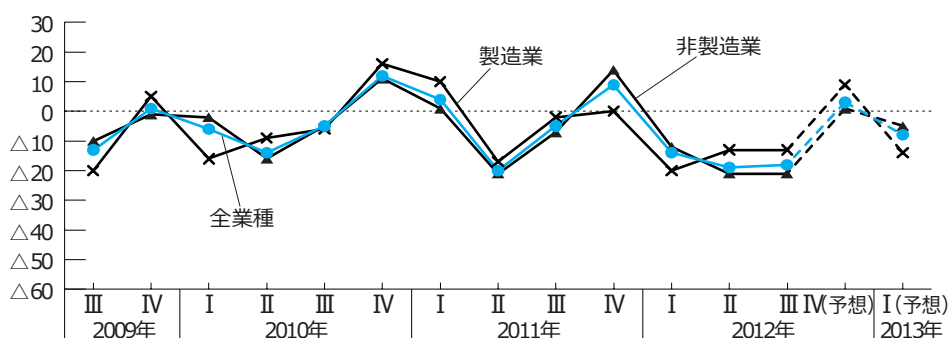
【2013年1～3月期の予想】 業況判断は再び悪化する見通し

1～3月期の予想は、売上げBSI（ $10 \rightarrow \Delta 8$ ）、収益BSI（ $3 \rightarrow \Delta 8$ ）、業況判断BSI（ $\Delta 11 \rightarrow \Delta 17$ ）とも10～12月期とは逆に悪化する見通し。この業況判断BSIは、前年同期実績（ $\Delta 21$ ）を上回る見通しとなっている。

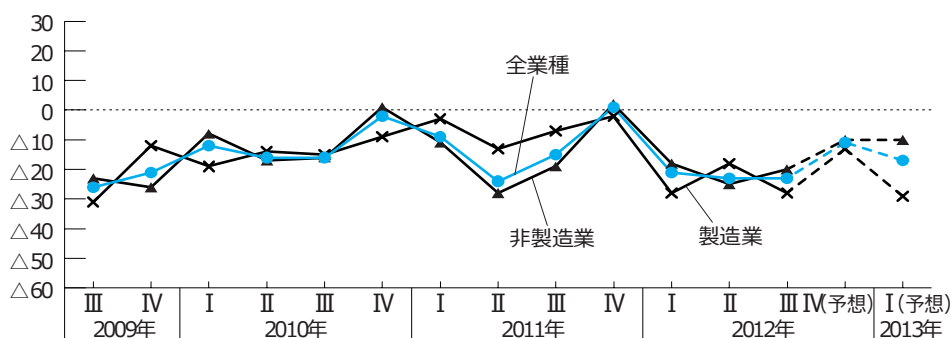
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

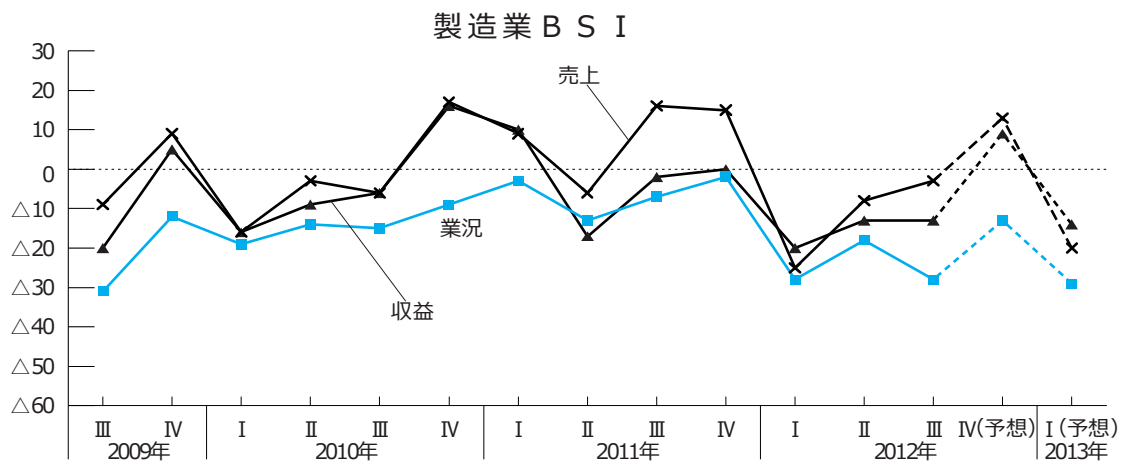
【製造業の現状】 業況判断は前期より悪化

製造業の当期の動向をみると、前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 3$ (前回調査時の予想 ± 0)) は改善、収益BSI ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 13$ (同 ± 0)) が横ばいの方、業況判断BSI ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 28$ (同 $\Delta 8$)) は悪化した。前年同期との比較は、売上げBSI ($16 \rightarrow \Delta 3$)、収益BSI ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 13$)、業況判断BSI ($\Delta 7 \rightarrow \Delta 28$) とともに悪化している。

【先行き】 業況判断は10~12月期は改善するが、1~3月期は悪化する見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\Delta 3 \rightarrow 13$)、収益BSI ($\Delta 13 \rightarrow 9$)、業況判断BSI ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 13$) とともに改善する見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 2$) よりも悪化している。

1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI ($13 \rightarrow \Delta 20$)、収益BSI ($9 \rightarrow \Delta 14$)、業況判断BSI ($\Delta 13 \rightarrow \Delta 29$) とともに悪化する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期 ($\Delta 28$) からほぼ横ばいで推移している。



3. 非製造業の動向

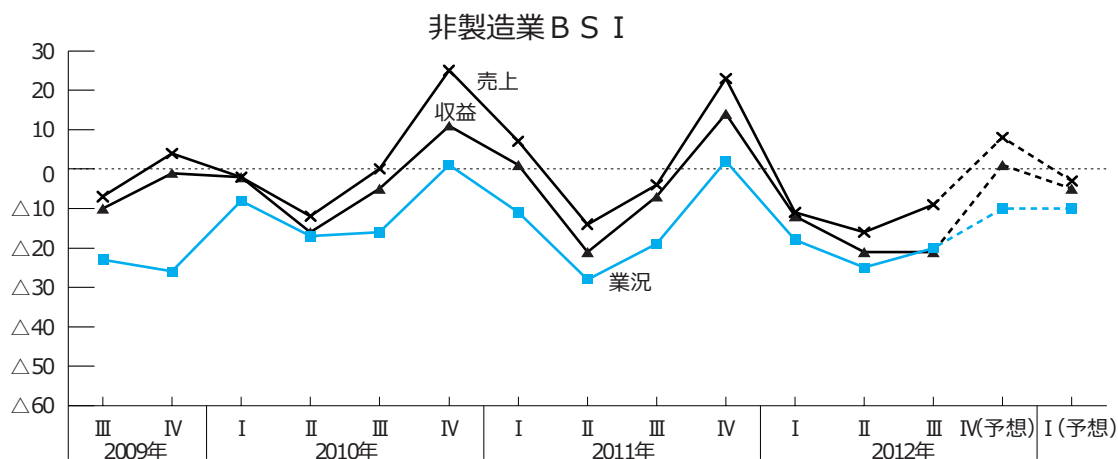
【非製造業の現状】 業況判断は前期より改善

非製造業の当期の動向をみると、前期に比べ、売上げBSI ($\Delta 16 \rightarrow \Delta 9$ (前回調査時の予想 $\Delta 1$))、業況判断BSI ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 20$ (同 $\Delta 7$)) が改善した一方、収益BSI ($\Delta 21 \rightarrow \Delta 21$ (同 $\Delta 2$)) は横ばいとなった。前年同期との比較は、売上げBSI ($\Delta 4 \rightarrow \Delta 9$)、収益BSI ($\Delta 7 \rightarrow \Delta 21$) が悪化、業況判断BSI ($\Delta 19 \rightarrow \Delta 20$) が同じ水準となっている。

【先 行 き】 業況判断は10~12月期も改善、1~3月期は横ばいの見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI ($\Delta 9 \rightarrow 8$)、収益BSI ($\Delta 21 \rightarrow 1$)、業況判断BSI ($\Delta 20 \rightarrow \Delta 10$) とともに改善の見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期(2)を下回っている。

1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI ($8 \rightarrow \Delta 3$)、収益BSI ($1 \rightarrow \Delta 5$) は悪化、業況判断BSI ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 10$) は横ばいの見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期($\Delta 18$)を上回っている。

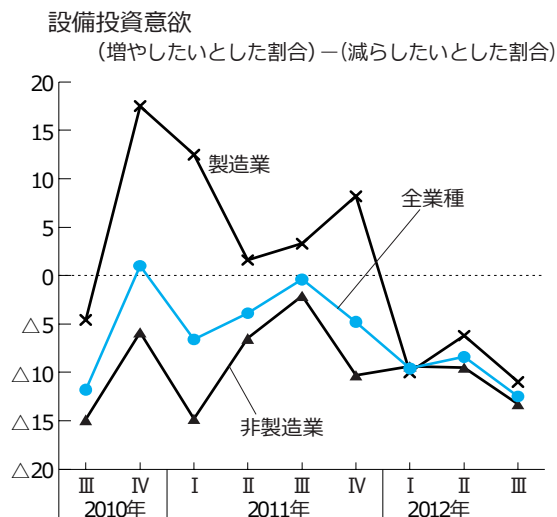


4. 設備投資の動向

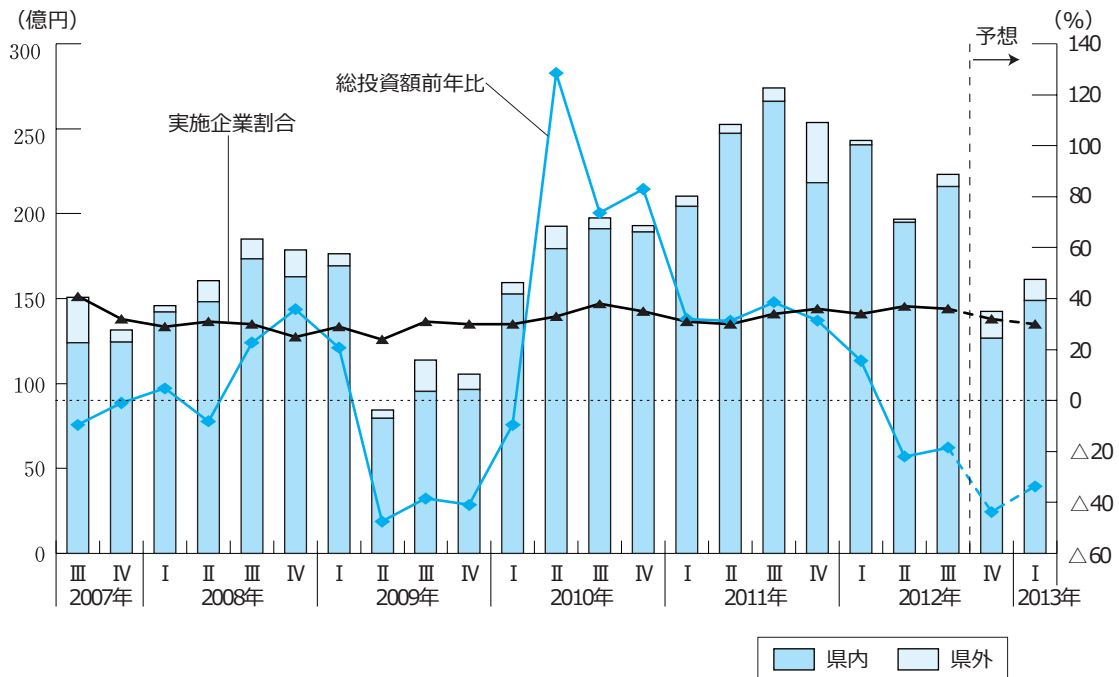
回答企業(全産業)のうち、当期において1百万円以上の設備投資(新規リース契約を含む)を実施した企業は全体の35.7%、総投資額は223億18百万円(うち、県内投資額は216億18百万円)であった。前年同期実績と比較すると、実施企業の割合は1.8ポイント上昇したが、昨年度大幅に増加した大手企業の投資が一巡していることを背景に、総投資額は18.5%減少した(前期比では13.3%増加)。

先行きの計画をみると、10~12月期の実施企業割合は32.4%で7~9月期よりもやや低下、総投資額は前年比で43.8%減となる約143億円と、減少が続く見通しである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業)は、「増やしたい」9.2%、「減らしたい」21.7%、「ほぼ変わらない」69.1%となった。また、「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業が $\Delta 12.5$ ポイント(前期 $\Delta 8.4$ ポイント)と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。業種別でも、製造業が $\Delta 11.0$ ポイント(同 $\Delta 6.2$ ポイント)、非製造業が $\Delta 13.3$ ポイント(同 $\Delta 9.5$ ポイント)と、ともに拡大している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、51.6%（前年同期49.2%）であった。一方、総投資額は、昨年度大幅に増加した大手の電子・化学関連部品メーカーによる投資が一巡していることを主因に、総投資額は204億37百万円（同253億23百万円）、うち県内投資額は202億3百万円（同252億44百万円）となり、前年同期に比べ19.3%減少した。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「研究開発」の比率が上昇した一方で、「既存設備の補修更新」、「増産・拡販のため」、「合理化・省力化」が低下した。

先行きの計画について、10～12月期の総投資額は約117億円で、前年同期比で48.7%、今期と比べ42.7%それぞれ減少する見込みとなっている。また、1～3月期の総投資額も、前年同期比34.8%減が見込まれている。今後1年間の投資意欲については、先行き「増やしたい」とする企業割合（10.9%）が「減らしたい」とする企業割合（21.9%）を11.0ポイント下回り、この差は前期から拡大している。

非製造業

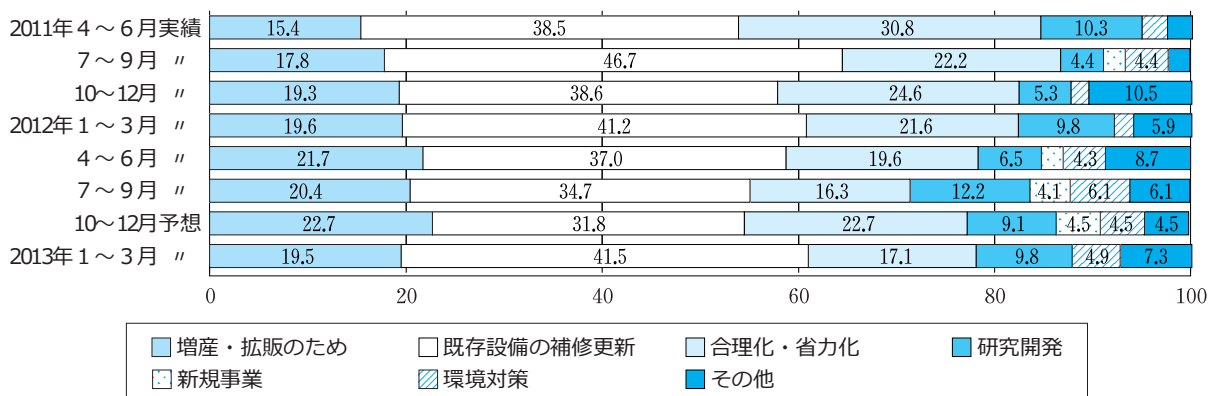
当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は28.7%（前年同期27.6%）、総投資額は18億81百万円（同20億74百万円）、うち県内投資額は14億15百万円（同13億56百万円）となり、前年同期と比べ総投資額は9.3%減少した。

目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」の比率が上昇した一方で、「合理化・省力化」が低下した。

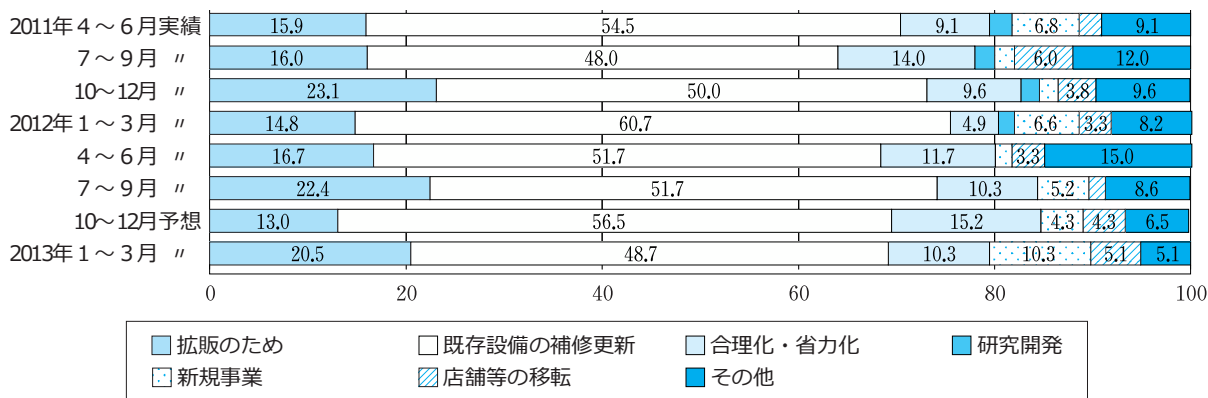
先行きの計画については、10～12月期の総投資額は前年同期比0.2%増の約25億円の一方、1～3月期は同19.9%減の約15億円の投資が予定されている。投資意欲については、先行き「増やしたい」とする企業割合（8.4%）が「減らしたい」とする企業割合（21.7%）よりも13.3ポイント下回り、この差は前期から拡大している。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	2	1	1
	3～5百万円未満	4	2	2
	5～10百万円未満	4	1	3
	10～50百万円未満	127	35	92
	50～1億円未満	44	17	27
	1億円以上	26	8	18
	計	207	64	143
従業員数	10人未満	17	7	10
	10～30人未満	52	14	38
	30～50人未満	40	9	31
	50～100人未満	38	7	31
	100～200人未満	30	12	18
	200～300人未満	9	6	3
	300～	21	9	12
計	207	64	143	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		8
	繊維製品		4
	木材・木製品		14
	パルプ・紙		2
	化学工業		8
	窯業・土石		4
	機械・金属		17
	その他		7
	計		64
非製造業	建設業		20
	運送業		15
	卸売業		45
	小売業		27
	サービス業		35
	その他		1
	計		143
総数			207

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年1～3月実績	21	49	30	△9	25	47	28	△3	20	49	31	△11
4～6月 "	16	44	40	△24	24	39	37	△13	13	46	41	△28
7～9月 "	15	55	30	△15	19	55	26	△7	13	55	32	△19
10～12月 "	20	61	19	1	18	62	20	△2	21	60	19	2
2012年1～3月 "	11	57	32	△21	10	52	38	△28	12	58	30	△18
4～6月 "	10	57	33	△23	13	56	31	△18	9	57	34	△25
7～9月 "	7	63	30	△23	6	60	34	△28	8	64	28	△20
10～12月予想	16	57	27	△11	17	53	30	△13	15	60	25	△10
2013年1～3月 "	11	61	28	△17	5	61	34	△29	14	62	24	△10

(2) 売上げ判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年1～3月実績	37	34	29	8	40	29	31	9	36	35	29	7
4～6月 "	30	29	41	△11	35	24	41	△6	27	32	41	△14
7～9月 "	31	40	29	2	39	38	23	16	28	40	32	△4
10～12月 "	42	37	21	21	38	39	23	15	43	37	20	23
2012年1～3月 "	24	37	39	△15	18	39	43	△25	27	35	38	△11
4～6月 "	25	37	38	△13	29	34	37	△8	23	38	39	△16
7～9月 "	23	47	30	△7	28	41	31	△3	21	49	30	△9
10～12月予想	32	46	22	10	33	47	20	13	31	46	23	8
2013年1～3月 "	20	52	28	△8	14	52	34	△20	22	53	25	△3

(3) 経常利益判断

(単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2011年1～3月実績	34	36	30	4	41	28	31	10	31	39	30	1
4～6月 "	22	36	42	△20	24	35	41	△17	21	37	42	△21
7～9月 "	24	47	29	△5	29	40	31	△2	22	49	29	△7
10～12月 "	32	45	23	9	26	48	26	0	35	44	21	14
2012年1～3月 "	22	42	36	△14	20	40	40	△20	23	42	35	△12
4～6月 "	20	41	39	△19	25	37	38	△13	18	43	39	△21
7～9月 "	18	46	36	△18	23	41	36	△13	15	49	36	△21
10～12月予想	30	43	27	3	34	41	25	9	28	45	27	1
2013年1～3月 "	20	52	28	△8	16	54	30	△14	22	51	27	△5

(注) B S I = (好転) - (悪化)